

お知らせ

2022(令和4)年1月21日



「北の鉄路をひらく」

～石狩・十勝短絡鉄道建設はじまる～

北海道における鉄道の歴史は古く、今から約140年前に遡ります。新橋・横浜間、京都・神戸間に次いで、明治13年に日本で3番目となる小樽市手宮・札幌間(約35km)が開業し、その後、北海道開発の大いなる担い手として年々充実してきた鉄道網。

この動画では、昭和39年に発足と同時に札幌支社を開設し、鉄道建設事業を国鉄から引き継ぎ、幾多の困難と闘いながら北海道全域の鉄道建設に取り組んだ物語です。

(鉄道・運輸機構(JRTT)の前身である日本鉄道建設公団が昭和41年に制作)

石狩・十勝短絡鉄道とは、追分線・紅葉山線・狩勝線の3路線。現在ではJR北海道石勝線となり、北海道の大動脈として活躍しています。工事に先立ち約260mの試験トンネルを掘り、難工事となる軟弱で膨張性がある蛇紋岩を徹底的に調査した上で本トンネルを掘削するなど、北の鉄路の建設に取り組んだ工事の様子をご紹介します。



【工事状況】



企画 日本鉄道建設公団（現名称 鉄道・運輸機構）

制作 北海道放送映画株式会社（現名称 株式会社エイチ・ビー・シー・フレックス）

<本件に関するお問合せ先>

本社 広報課 TEL 045-222-9101



ウェブサイト



YouTube
公式アカウント



Twitter
公式アカウント